

保育園 近隣との「壁」苦慮



近隣への配慮から緑化防音壁を設置した保育園。住民からも好評だという(18日、足立区)

待機児童の問題が深刻化する中、都内でも住民の反対で、保育園の開園を断念したり、延期したりするケースが出てる。住民の要望に耳を傾け、理解を得る取り組みも行われている。

苦情対応に緑化防音壁

「これで少しあは園児たちにのびのびとアール遊びをさせてあげられる」。足立区梅田の認証保育園「パンビ保育園」の鈴木圭子園長(69)は、完成間もない緑色の壁を見上げて目を細めた。

住宅密集地にある同園では、都の認証保育園としてスタートした2011年10月以降、「子どもの声がうるさい」はしゃぎ声が気になる」といった苦情がたびたび寄せられていた。両隣の民家の壁との距離はわずか1枚未満。預かっている0歳児の泣き声が響いてしまうこともあって、園関係者の心労は絶えなかつた。

だが、今年3月に造園業者の協力で、隣家との境に高さ約3枚の防音壁を設置。壁に花を植える「壁面緑化」の技術が使われ、パンジーやシクラメンなど色とりどりの花が壁一面を覆つた。

防音効果は絶大で、地域住民からも「きれいね」と声をかけられるようになつた。鈴木園長は「園が努力している姿勢を見てもうことが、地域との関係を作ることで重要」と話す。

開園断念・延期相次ぐ

杉並区の閑静な住宅街では、都の認証保育園としてスタートした2011年10月以降、「子どもの声がうるさい」はしゃぎ声が気になる」といった苦情がたびたび寄せられていた。両隣の民家の壁との距離はわずか1枚未満。預かっている0歳児の泣き声が響いてしまうこともあって、園関係者の心労は絶えなかつた。

だが、今年3月に造園業者の協力で、隣家との境に高さ約3枚の防音壁を設置。壁に花を植える「壁面緑化」の技術が使われ、パンジーやシクラメンなど色とりどりの花が壁一面を覆つた。

防音効果は絶大で、地域住民からも「きれいね」と声をかけられるようになつた。鈴木園長は「園が努力している姿勢を見てもうことが、地域との関係を作ることで重要」と話す。

保育園(定員64人)が開園する予定だった。区の公募に応じた事業者は14年春以降、周辺への戸別訪問や説明会を繰り返したが建設工事を追加したため開園が遅れている。

「区としては絶対に引かな

い方針でも、事業者が説めてしまうと何もできない」

建設工事を追加したため開園が遅れている。

事業者に対応を依頼した。

「区としては絶対に引かない方針でも、事業者が説めてしまうと何もできない」建設工事を追加したため開園が遅れている。

「区としては絶対に引かない方針でも、事業者が説めてしまうと何もできない」建設工事を追加したため開園が遅れている。